

がん経験者の外見支援を通して生まれた 異分野協働の実践

木村美代¹⁾、久村和穂¹⁾²⁾、北村陽子³⁾、龍澤泰彦¹⁾⁴⁾

1)石川県がん安心生活サポートハウス 2)金沢医科大学医学部公衆衛生学
3)石川県がん安心生活サポートハウスBeauty部 4)石川県済生会金沢病院外科

きっかけは1人のがん経験者の悩みから

目的

がん治療に伴う外見の変化は、患者の生活や社会参加に影響を及ぼす。一方、医療機関のみで対応できることには限界があり、地域の社会資源との連携が求められる。
外見サポートプログラム「Beauty部」が、利用者支援および地域の外見支援体制づくりに果たした役割について報告する。

がん経験者

こんな爪じゃ娘の結婚式でお酌をするのが恥ずかしい



はなうめを良く理解する方に相談
ひとりのネイリストと出会う



ネイリスト

いろんな美容業の人とボランティアグループとして活動したい



ネイリスト

爪がかなり小さいので、お手入れは触れる程度で。何かしてもらったという感覚が大事だと思ったから。ちょっと色を付けるだけで随分雰囲気かわって喜んでいただけた。



ネイルチップを微調整



フィットするチップで結婚式へ！

理美容の専門性だからこそ支えられることがあると実感
技術だけでなく、日頃培われた接客コミュニケーション力もつよみ

活動の概要

Beauty部は、ひとりのがん経験者の悩みをきっかけに2016年に開始した、プログラムで、ネイリスト、美容師、メイクアドバイザー、洋裁師など、地域の理美容の専門職がボランティアグループとして年4回活動している。
利用者は施術やセルフケアの助言を受けながら、外見に関する相談や参加者同士の情報交換を行うことができる。

Beauty部 様々な専門職がボランティアで参加

メイクアドバイザー



ワンポイントメイクアドバイス

理美容師



再発毛・ウィッグのカット・セット

ネイリスト



爪周りのケア
ネイルカラー

洋裁師



イメチェン体験
衣服のリメイク

フットケアナース



靴の履き方・選び方
角質・爪のお手入れ

開催実績 2016～2026年6月



開催回数

合計 **41** 回



利用者

平均 **10.3** 人/回



Beauty部メンバー

平均 **5.1** 人/回



がん経験者



外見の困りごとを相談



セルフケアを学ぶ



地域の専門家と出会う



情報交換・ピアサポート

地域への波及

理美容業者と医療福祉職の
・相互理解
・ネットワーク

がん経験者の
外見サポート研究会
発足



地域の理美容業者と
医療福祉職が
共に学ぶ場の継続

考察

Beauty部は、がん経験者と地域の専門職をつなぐ場として機能した。理美容業従事者が主体的に活動を担うことで、医療福祉職との継続的な協働関係が構築された。

参考



はなうめ



外見サポート
研究会



Beauty部

日本緩和医療学会 支部学術大会
COI 開示

演題名: がん経験者の外見支援を通して生まれた異分野協働の実践
発表者名: 木村美代、久村和穂、北村陽子、龍澤泰彦

本演題発表内容に関連し、
主発表者及び発表責任者には、
開示すべきCOI 関係にある企業等はありません。

Beauty部の実践から見てきたこと

がんサロンは、異分野協働を生み出し、
地域資源を育むプラットフォームになり得る